

5月19日 2013(平成25年) 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

ペンテコステ礼拝

司 会 : 片岡洋一 兄
奏 楽 : 館 節子 姉
おいのり : 下岡晶子姉
さんび : 新聖歌 416 (聖霊来れり) 1・2・5 節
十 戒
聖 書 : ルカによる福音書 10 章 30 ~ 37 節
(朗読: 赤塚孝子姉)
音 楽 : 原田恵(ソプラノ)・竹内功(ピアノ)
メッセージ : 「あなたが生まれた理由」 倉知 契 牧師
さんびと 献金 : ♪ 明日はどんな日か
頌 栄 : ♪ 新聖歌 63 「父 御子 御霊の」
祝 禱
報 告

【瀬戸ニュース】

- ◇ 教会へようこそ！心からご歓迎いたします。
- ◇ 今週も祈禱会を大切に！
 - 木曜祈禱会: 朝 10:30
 - 土曜 : 会堂清掃 10:30~、 11:15~ 準備祈禱会
- ◇ 宿題(祝大)今週もむさぼるように聖書を読みましょう！
 - Aコース : ヨハネ4章~6章
 - Bコース : 列王紀下 4 章~22 章
- ◇ 次聖日 5月26日 「 たのしいバザー 」を行います。
準備と献品をお願いします。

◇次聖日礼拝奉仕者(2013年5月26日) [たのしいバザー]
[司会: 大神真伸兄、いのり: 赤塚孝子姉、聖書朗読: 下岡晶子姉]
[ピアノ: 米田 香 姉、]
[アシスト: 鄭 恵真姉 & 大神美乃姉]
[献金: 太田昌子姉、受付: 加藤由美子姉]
◇PA: 平松章治兄 ◇週報編集: 片岡洋一兄
◇ホームページ編集: 大神真伸兄



「あなたも行って同じようにしなさい。」

(ルカによる福音書 十の三七)

作家の村上春樹さんと指揮者の小澤征爾さんの対談集「小澤征爾さんと音楽について話をする」で、喜寿を迎えた小澤さんがこう語っています。

『僕くらいの歳になってもね、やはり変わるんです。それもね、実際の経験を通して変わってゆきます。それがひょっとしたら、指揮者という職業のひとつの特徴かもしれないね。つまり現場で変化を遂げてゆく。僕らはね、オーケストラに実際に音を出してもらわないと話にならないんです。僕が音符を読んで頭の中に音楽をひとつこしらえて、それをオーケストラの人たちと一緒に実際の音にしてゆくわけだけど、そこで生じるものがいろいろとあります。人間と人間の現実的な関係もあれば、その音楽のどこに重点を置けばいいかというような音楽的判断もあります。長いフレーズをとって音楽を眺めるときもあれば、逆に細かいフレーズに拘泥するときもあります。そんないくつもの作業のどこに重点をもっていけばいいか、そういう見きわめもしなくちゃならない。そういうあれこれの経験を通して、僕らは変わっていきます。』

私はあの世界の小澤さんが最後に、「僕らは変わって」と言っているのに感動しました。自分一人じゃなく、オーケストラと共に「僕らは」変わってゆく…。

4月から担任牧師が来るという「変化」に耐えて、瀬戸の皆様が、熱心に礼拝や祈禱会に集ってくださる姿に感動しています。私自身、もっと整えられ変えられなければならないと思っています。お祈りください。そして共に主の似姿に変えていただきたい。

今日は、ペンテコステ。キリスト教にとって歴史的な「教会の誕生日」。キリストの昇天から10日(復活から50日)、120人の弟子たちが心を合わせて祈っていると、聖霊が力強くくだって、3千人が救われ、初代教会がスタートしました。そこには様々な「音」や「声」があったことが使徒行伝2章に描かれています。十字架の時に逃げ出した臆病者も、主を否定した裏切り者も、みな変えられ用いられました。

教会はオーケストラのようです。いろいろな種類の楽器があり、いろいろな音を出します。その個性豊かなオーケストラが、イエス様という指揮者のもとに、美しい音を奏でる。それが礼拝であり、教会です。先週はわき合いあいの持ち寄り音楽会で満足。今日は格別美しい特別賛美。喜びの歌声はまだまだ続きます！

瀬戸カルバリーチャペル 倉知 契